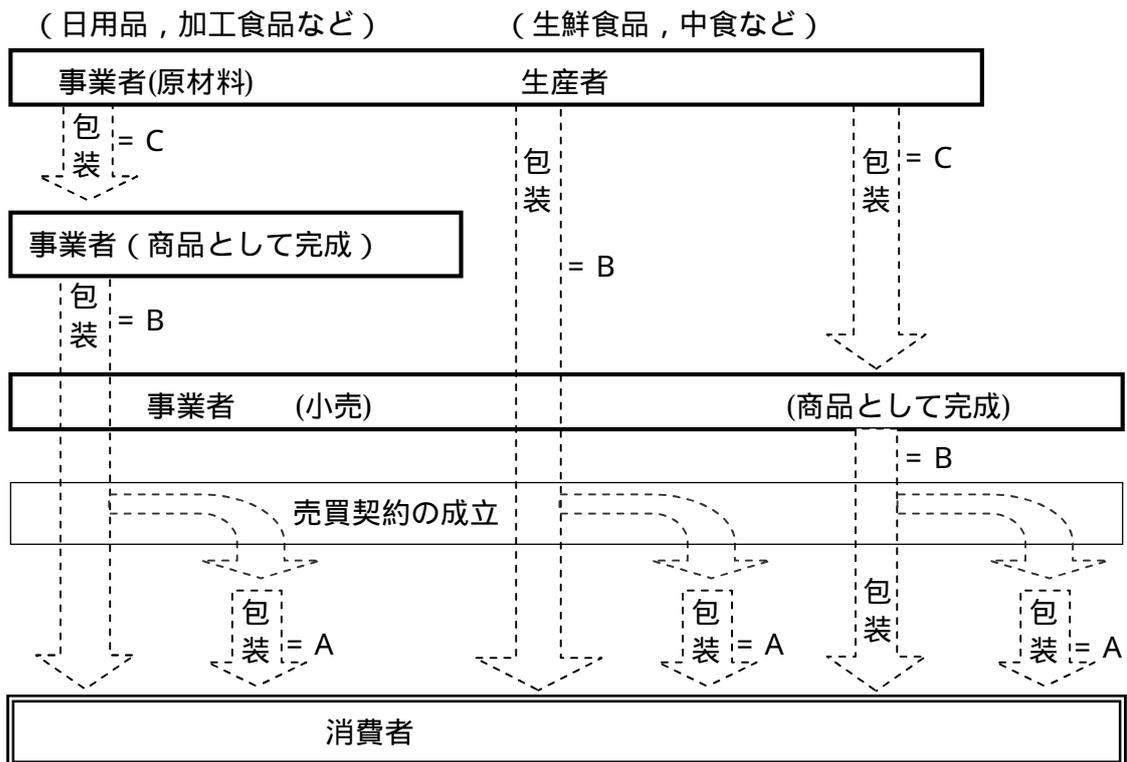
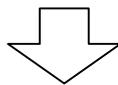


## 包装の検討範囲



- 包装 A = レジ袋ほか購入後の包装 (消費者が直接手にする包装)
- 包装 B = 商品として完成している包装 (消費者が直接手にする包装)
- 包装 C = 事業者の輸送等のための包装 (消費者が接することがない包装)

消費生活条例の趣旨・・・消費者と事業者間の情報量などの格差等にかんがみ, 消費者の権利の実現を図る。



A, Bの包装が包装基準による規制の対象としての検討範囲と考えられる。